



Title	センター長再任にあたって
Author(s)	松田, 治和
Citation	大阪大学大型計算機センターニュース. 1992, 85, p. 1-1
Version Type	VoR
URL	<a href="https://hdl.handle.net/11094/65962">https://hdl.handle.net/11094/65962</a>
rights	
Note	

*The University of Osaka Institutional Knowledge Archive : OUKA*

<https://ir.library.osaka-u.ac.jp/>

The University of Osaka

# センター長再任にあたって

松 田 治 和

各位からのお力添えを賜りましたお蔭をもちまして、本年3月にセンター長として2年の任期は満了しましたが、4月からも引き続きセンター長を仰せつかることになりました。余すところ定年退官までの1年足らずですが、微力ながら本センターの発展に寄与できますよう、精一杯頑張りたいと思っております。

センター長に就任以来、当センターのサービス向上、特にスーパーコンピュータの更新、全学情報ネットワークシステムODINSの実現に努力を続けてまいりました。また、全国的な学術情報ネットワークの拡充についても、共同利用機関としての本センターの役割をふまえ、十分な使命を果たせるよう留意してまいりました。

残念ながらODINSの設置は本年度も見送りとなりましたが、スーパーコンピュータの更新については平成4年度に予算が認められ、平成5年初頭には新システムが導入される予定です。現時点でまだ機種は決定しておりませんが、UNIXをOSとする世界最高級の性能を誇る新機種の導入を期待しております。また、新しいスーパーコンピュータは大型汎用機のバックエンドプロセッサとしてではなく、スタンドアローンなシステムとして直接ネットワークに接続し運用しますので、従来からの利用形態はもちろんのこと、ワークステーションなどからネットワークを経由した高度な利用が可能となります。更新作業に関しましては、研究のための計算機利用が最も盛んな時期と重なることが予測され、利用者の皆様にはかなりのご迷惑をおかけすることを懸念しておりますが、ご理解とご協力をお願い申し上げます。

本年度はかねてからの懸案事項でありますODINSの実現によって、新しいスーパーコンピュータがより効果的に機能を発揮できる環境を整備することをはじめ、さらには大型汎用機の更新を含むもろもろのサービスの拡充に向けて、より一層の努力をする所存であります。今後とも利用者の皆様および関係各位にはこれまで以上のご指導とご協力をお願い申し上げます。